

Koyomi

2025 | 令和7年

vol.53 3/20発行

CONTENTS

| | |
|----------------|---|
| Smile Pick Up! | 1 |
| 離職者実態調査 | 2 |
| 協力医療機関との連携体制 | 3 |
| 施設長リレーコラム | 4 |

施設を支える、
やりがいの
ある仕事



あらき せいや
荒木 誠弥さん

所属 / 特別養護老人ホームすもとの里

職種 / 総務

経歴 / 阿賀野市生まれ

他業界での経験を経て

社会福祉法人ごせん福祉会に入職

趣味 / ランニング

● 就職のきっかけ

入職して現在2年目ですが、前職は福祉とは全く違う業界で働いていました。転職を考え始めたタイミングで、自分の周りに高齢者の方が多いことに改めて気が付き、今後ますます高齢化が進む社会において、福祉は必要不可欠な存在だと考えるようになりました。今までの事務の経験を活かし、私も施設を必要とする方の役に立ちたいという思いが強くなり転職を決めました。

実際に働き始めると、入所を待っている方が多いことに驚きました。自分が思っていた以上に多くの方に必要とされている仕事なのだと思えて感じ、大きなやりがいを感じています。

● 大切にしていること

事務員として、書類作成を正確にこなすことはもちろんですが、ご利用者様のご家族の方への対応も、とても大切にしています。高齢の方が多いので、分かりにくい専門用語は使わないようにし、言葉遣いや話し方、話す速さにも気を付け、しっかり言葉が伝わるよう工夫しています。ご利用者様の介護をするわけではありませんが、ご家族と直接お話をするのは私たち事務員がメインになるので、「この施設なら安心して任せられる」とご家族に感じてもらえる重要な仕事だと思っています。前職とは対応する方の年齢層が全く違うので、最初は戸惑い苦労することもありましたが、ご家族から顔を覚えていただいたり、感謝の言葉をもたらすことも嬉しいです。

● 今後について

新しく覚えることばかりで大変なこともありますが、この2年で、ご利用者様の顔も覚え、ひとりでもできる仕事も増えてきました。まだまだ学ぶことも多いですが、自分なりに日々成長を実感できています。同じ部署の先輩達を目標に、これからも新しいことに積極的にチャレンジして、できることをどんどん増やしていきたいです。

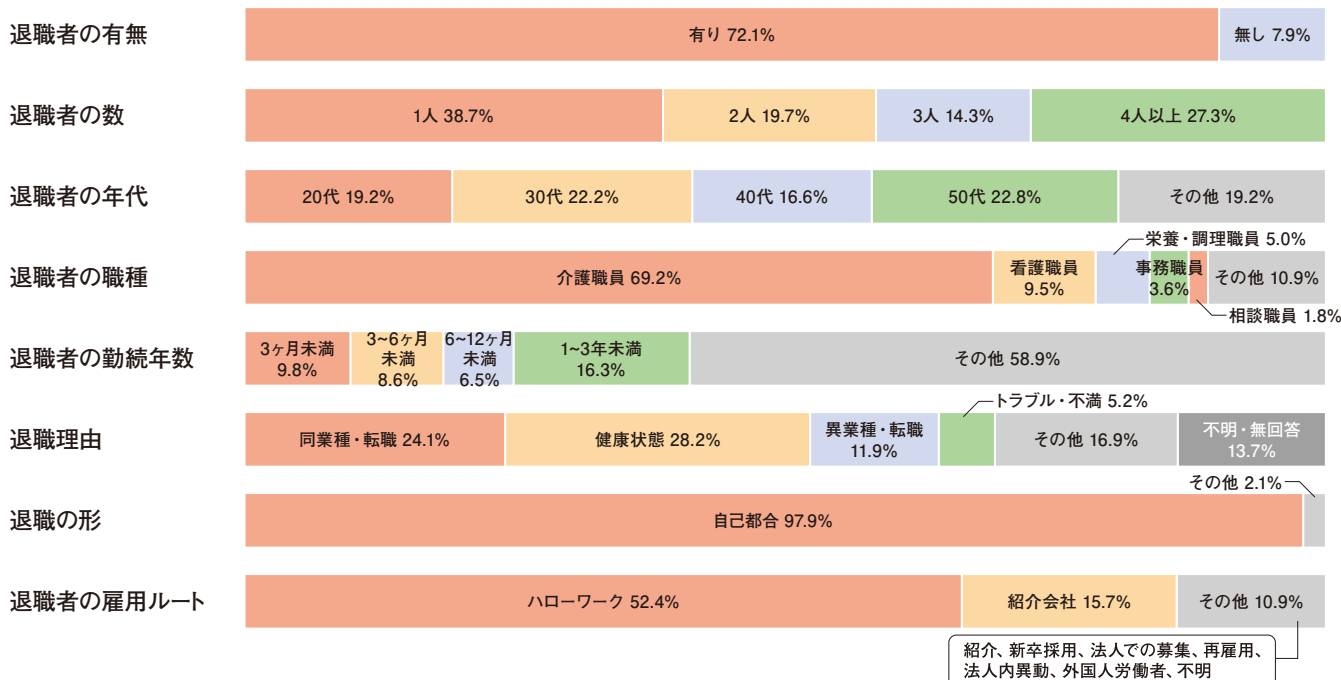
離職者実態調査



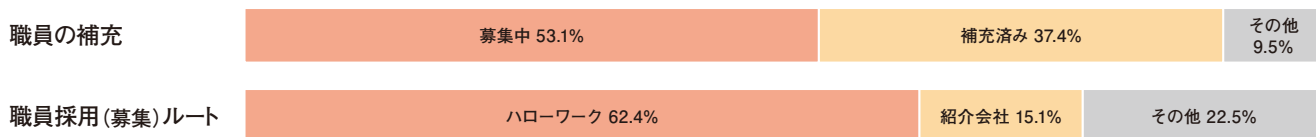
県内では介護職員の不足と定着率の低さが課題となっています。そこで、本会総務委員会は、会員施設の現状を把握するためのアンケート調査を実施しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

内容／施設・事業所職員の退職状況
調査期間／令和6年12月2日(月)～令和7年1月10日(金)
回答数／204件

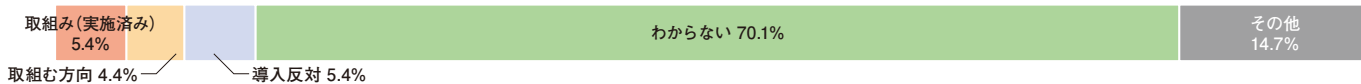
● 令和6年4月以降の退職者について



● 離職の対応について



〈番外編〉週休3日10時間制度に対する法人の取り組みについて



考察

今回の離職者実態調査の結果、介護職員の人材確保・育成がどの事業所にとっても喫緊の課題であることを再確認しました。回答者の7割で退職者が発生しており、特に4人以上退職した事業所が3割程度をしめています。また、年代別では30代の退職者が2割にのぼり、リーダークラスの退職者の多さに人材育成の難しさを感じます。職員補充については、半数が補充済みであ

るものの、3割の事業所では募集が継続されており、人材不足に苦慮している状況がうかがえます。雇用ルートに関しては、従来通りハローワークが5割を占めていますが、地域差もあり紹介件数が減少傾向にあるようです。一方、紹介会社は手数料が高額なため採用に慎重にならざるを得ない状況です。ハローワークの利用を希望するものの、十分な

人材確保に至らず、高額な費用をかけて紹介会社に頼らざるを得ない状況であることもわかりました。退職者が異業種に転職するケースも増えており、介護人材の確保は深刻な問題となっています。新潟県老協として、外国人介護労働者や介護ロボット・ICT等の活用はもちろんのこと、魅力ある職場環境づくり、介護魅力発信に努めて参ります。(井野端)

どうしていますか？ 協力医療機関との連携体制

十日町地域ご紹介

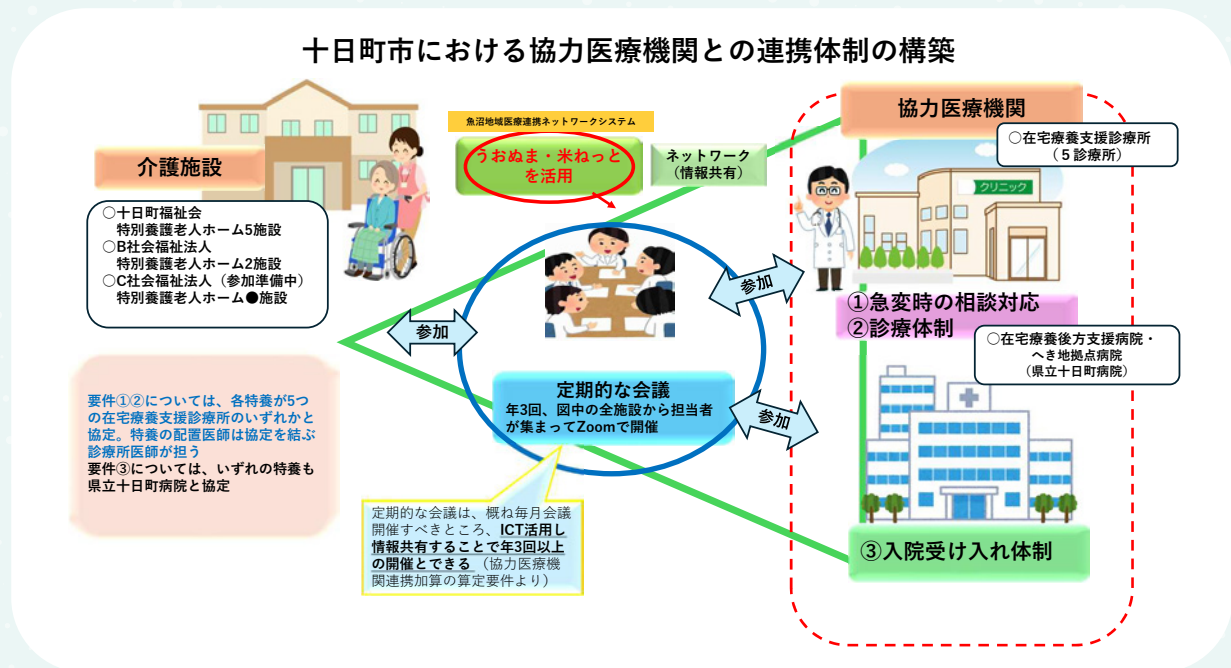
令和6年度介護報酬改定で創設された「協力医療機関との連携体制」。2027年の義務付けまで3年の猶予が設けられているとはいえ、全国老協の調査では特養における加算Ⅰの算定は25.3%、加算Ⅱは3.9%に留まっています。その算定率は低く、新潟県老協HP「コネクションルーム和話輪(わわわ)」内でも、定期的な会議の開催は？などの投稿もあり、多くの施設が手さぐり状態であることが想像されます。

このような状況の中、十日町地域では既存のネットワークを利用し市内の病院、5つの診療所(強化型在宅支援診療所)、2つの社会福祉法人の7特養が合同で定期的な会議を開催し医療機関との連携体制を構築しています。

この合同会議が開催できた背景には、以下の要因が挙げられます。

- 「うおぬま米(まい)・ねっと(魚沼地域で稼働している魚沼地域医療連携ネットワーク)」を活用できたこと。
- 以前より十日町地域の特養嘱託医師(強化型在宅支援診療所)の輪番性代診医システムが構築されていたこと。
- 「(一社)妻有地域メディカル&ケアネットワーク」の活動を通じて医療、介護連携が進められてきたこと。

また、同年6月の診療報酬改定において「協力医療機関に対して連携加算が算定となるため、医療機関は早急な対応を求めている」ことも連携を後押しした要因と想像できます。



「(一社)妻有地域メディカル&ケアネットワーク」は妻有地域内の医療・介護・福祉のプラットフォームとして創設され、日頃から医療、介護、福祉の協働事業を推進してきたことが、今回の連携体制構築に大きく影響しました。

理事の松村 実氏(社会福祉法人十日町福社会常務理事)は次のように語ります。

平成26年4月より管内の12の社会福祉法人で任意の連携団体を作り、新潟県からの助成金を活用して地域包括ケアシステムの構築、独自の人材育成活動や未来の担い手育成事業、地域貢献活動など様々な協働事業を行ってきました。圏域で始まった医療、介護、福祉の新たなプラットフォームづくりの検討に加わり、地域の医療、介護の持続可能な提供体制の構築を理念に据え、令和5年7月に一般社団法人化に結び付けました。医療と介護の連携は地域住民の暮らしを支えるうえで必須であり、2040年問題に向け更に加速させる必要があります。

実際に会議に参加した各施設のメンバーからは「オンラインで90分という短時間で、会議のセッティングは医師会事務局が行ってくれるため負担が少なく、日頃顔を合わせる機会が少ない医師とも交流が持て良いことばかりだ」という声が上がっています。

介護報酬上の加算算定も重要なことですが、今後の医療と介護の連携を考えるきっかけとなりそうです。

(第4ブロック理事・長津)

施設長 リレーコラム

連載 | vol.53

できるを
支える施設に！



特別養護老人ホームかつぼ園
園長
かとう みちあき
加藤 理代さん



できることを
こつこつと

特別養護老人ホームかつぼ園

事業所所在地 ● 新潟県長岡市加津保町1695番地2
運営事業者 ● 社会福祉法人長岡東山福祉会
事業所の種類 ● 介護老人福祉施設／従来型104名、ショートステイ20名
連絡先 ● TEL／0258-44-8338
E-mail／katuboen-higasiyama@ninus.ocn.ne.jp

施設
概要

毎朝、道沿いの住宅に咲く色とりどりの花に力もらい出勤します。長岡市郊外、東山連峰の緑豊かで花に関わる活動が盛んな地域に昭和62年に開設された特別養護老人ホームかつぼ園の園長になって3年9カ月となりました。

かつぼ園は開設当初から地域の皆様に支えられてきました。平成20年に同地域に開設した地域密着型施設ケアセンター花の里かつぼや長岡市から指定管理を受託している高齢者センターふそき拠点においても、草取り、花植え、余暇活動の補助など、様々な活動にご協力をいただいております。法人全事業所が地域と、そして法人事業に関わる全ての皆様との繋がりを大切に「ご利用者が尊厳と生きがいをもって自分らしい人生を安心して送れるよう支援をする」ことを目標に運営しております。

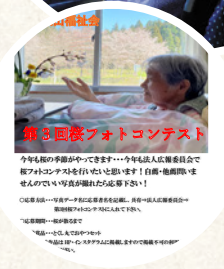
今私達は、ご利用者の生きがいと地域社会との繋がりを大切にするため、ご利用者が作った作品を地域のお店や郵便局等に置かせていただく活動に取り組んでいます。しおり、ティッシュケース、カレンダー等、障がいがある方もできることをできる範囲で参加し、その一生懸命な皆様の姿に私達職員も元気をもらっています。また洗濯たたみ、お掃除、下膳等、ご利用者ができることについて手を出してしまわないよう、そっと見守っています。

そんな取り組みに対し職員の思いをひとつにして、さらなる進化を目指して、各事業所の目標を短い文書に要約しキャッチコピーとして掲げ、広報活動に積極的に活用しています。最近SNS等の動画や写真をご覧になったご家族や関係者の皆様から、私達の目指す活動に興味をもらっていただき、多くの感想が寄せられるようになりました。「できるを支える(特養)」「したいがかなう(短期)」、「心とからだ動くデイ」それぞれの事業所が言葉に思いを含め、社会福祉法人としての役割を考えるとともに、これらもご利用者の人生に寄り添ってまいります。



野球部訪問
必勝祈願

桜フォトコンテスト
園長賞作品
ベストショット!



地域の
皆様による
草取り



ご近所の
温泉施設に
持って
いきました!

